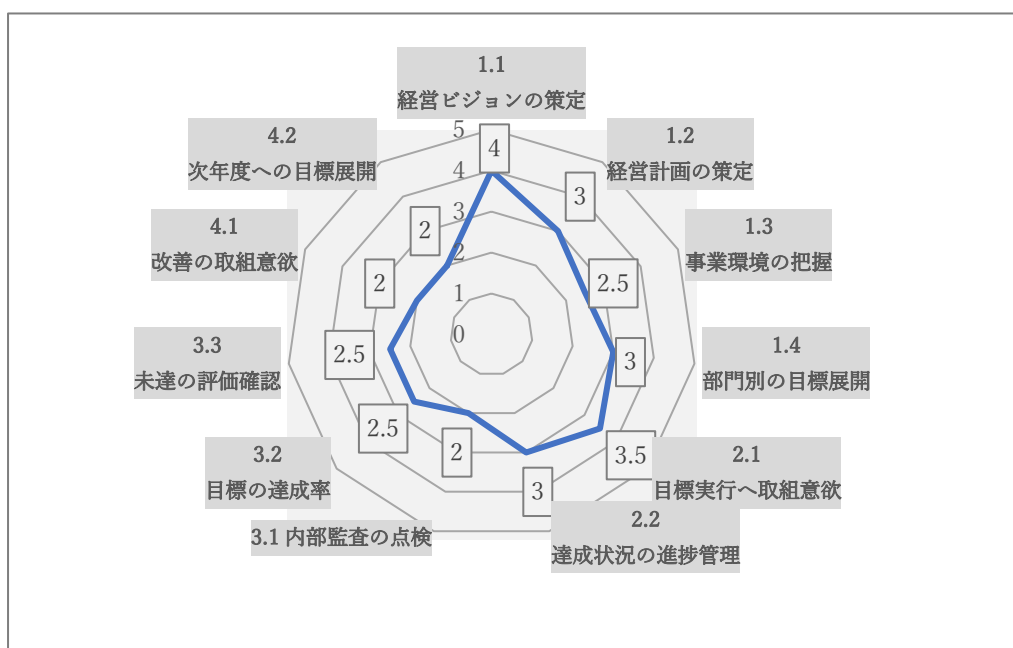


プロセスの成熟度を診断する (経営目標展開プロセス)

経営を強化するための6つのプロセスうち「経営目標展開プロセス」について、その実行状況を診断する記入シートがある。5段階の評価基準にそって、現状のレベルを選択すれば、評価項目別のレーダーチャートができ、そのプロセスの全貌が把握できる。複数人で取組めれば、評価の客観性が確保できる。

目標展開プロセスの事例 (レーダーチャート)



目標展開プロセスの事例 (診断記入シートの抜粋)

評価区分	評価項目	評価の内容	評価	評価	評価	評価
			1	2	3	4
はじめに		<ul style="list-style-type: none"> ISO マネジメントシステムの仕組みに沿って、目標管理プロセスの運用状況を診断することを目的としている。 評価は5段階で行い、別紙「目標管理プロセスの評価表」に基づいて行う。レベル3が標準的な基準として設定している。 				
1.0 計画	1.1 経営ビジョンの策定	経営ビジョンを策定し、それが社内にとどの程度浸透及び定着しているかを評価する。				
	1.2 経営計画	事業の経営計画が中長期及び年度計画がどのように一貫性をもって計画され、必要に応じて見直されているかを評価する。				
	1.3 事業環境の把握	外部の事業環境及び自社の特徴(強味・弱み)を幹部社員が共有して的確に分析しているかを評価する。				
	1.4 部門別の目標展開	年度経営計画と事業環境を踏まえて、部門別の意欲的な目標が展開されているかを評価する。				
2.0 実行	2.1 目標実行へ取組意欲	目標達成への取組意欲のレベルを評価する。部門及び個人レベルまでの実行状況を評価する。				
	2.2 達成状況の進捗管理	達成状況の進捗管理をどの程度頻度で実施しているかを評価する。				

目標展開プロセスの事例（評価基準の抜粋）

区分	評価項目	評価基準				
		レベル1	レベル2	レベル3（基準）	レベル4	レベル5
計画	1.1 経営理念の策定	経営理念が策定されていない	経営理念は策定されているが、文書化されていない。	経営理念があり、社内掲示やパンフレットに明示されている	同左に加え、利害関係者を配慮した事業継続に必要な経営理念である	同左に加え、毎朝経営理念を唱和して、全社員に浸透している
	1.2 経営計画	経営計画が作成されていない	年度計画が策定され、明示されている	中長期計画及び年度計画が策定され、定期的に見直されている	同左に加え、計画に一貫性があり、しっかりした経営計画である	同左に加え、この経営計画が社員に浸透している
	1.3 内外の事業課題の把握	自社の内部及び外部の課題を検討していない。	自社の内部及び外部の課題は経営者や幹部社員が把握しているが明文化されていない	自社の内部及び外部の課題が経営者と幹部社員も含めて検討され、文書化されている	同左に加え、課題の分析にはSORT分析などが活用され、現状を正確に把握している	同左に加え、社員に共有され、行動に行かれている
	1.4 部門目標展開	部門ごとの目標が作成されていない	部門ごとの目標が作成されているが、内外の課題と連動していない	年度計画及び内外の課題を踏まえた目標展開が部門ごとに展開されている	同左に加え、部門ごとの役割展開にバランスが取れている（バランススコアカード等）	同左に加え、部門目標から個人目標への展開が浸透している